

「徳洲会献金問題で猪瀬都知事は辞任すべきでしょうか？」

●たたかう中高年さんからの質問

今回は猪瀬東京都知事の件についてです。ズバリ猪瀬さんは、徳洲会からの献金問題の責任をとって、都知事をやめるべきでしょうか。ちなみに私は説明責任さえ果たせば、辞任の必要はないと思います。反社会的団体とか外国勢力とかからお金をもらってれば話は別ですが、今回はそのような団体ではなく、24時間診療を目的とした医療機関の団体で、たまたま選挙違反に問われただけで、それ以前の行為については、逮捕等の処罰以前の話であり、なんら問題はないと思います。

●西田昌司の答え

私は、辞任すべきと考えています。

2012年の都知事選前の2012年11月に、猪瀬さんは医療法人徳洲会グループ創設者の徳田虎雄氏に「都知事選に出ます」と挨拶し、徳田虎雄氏の次男の徳田毅衆院議員を通じて「余ったら返すのでまずは1億円をお願いしたい」と電話をし、1億円の資金提供を要求していました。徳田虎雄氏は「5000万円で対応しろ」「足がつかないよう議員会館で渡せ」と徳田毅議員に指示し、議員会館の事務所で猪瀬さんに直接、現金で5000万円を手渡しましたが、このお金は選挙運動費用収支報告書や政治資金収支報告書に記載されませんでした。

猪瀬さんはこのお金を「借入金」であるなどと説明し、「徳洲会側から申し出があり、厚意を断るのは失礼だと考えて借りた。5000万円という額になった理由は分からない」などと説明していますが、これは誰が考えても不自然であり、まず間違いなく選挙の為の裏金をもらった、ということなので

しょう。猪瀬さんは「余ったから返しました」などとあきれ返る弁解をしています。5000万円が賄賂ではなく借入金だとしても、必要な記載を怠れば公職選挙法違反や政治資金規正法違反に該当します。

徳洲会は日本最大の医療グループであり、立派な経営をされているのだと思います。グループは東京都内にも病院・保険施設を抱えており、総合病院として東京西徳洲会病院（昭島市）を運営しています。2012年5月にはグループ傘下の特定医療法人「沖縄徳洲会」が老人保健施設「武蔵野徳洲苑」（西東京市）を開設しました。武蔵野徳洲苑の工期は2010～2011年の2年間で、沖縄徳洲会が西東京市に設立を申請し、都が近隣に所在する施設数などを考慮して150床を認可しました。沖縄徳洲会は一般競争入札で工事業者を選定し、工事額全額の約7億5000万円の補助を都から受けていますが、この時に猪瀬さんは都の副知事でした。今回の5000万円は7億5000万円のキックバックであるとも言われています。

東京地検特捜部は2013年9月に、徳洲会グループが2012年の衆院選で徳田毅衆院議員の選挙運動に病院職員らを違法に動員した疑いがあるとして病院などを家宅捜索しました。猪瀬さん側はその後に全額の5000万円を返したのですが、これは裏金をもらったことが発覚するのを恐れてのことでしょう。しかし、その返されたお金の入った袋が特捜部側に見つかってしまい、今回の騒動となったようです。こうなると犯罪の臭いが非常にしますし、かなりまずい事件であると言えます。猪瀬さんはこれまで政治に関して、あまりに綺麗事ばかりを言ってきました。しかし今回、他人には厳しいが自分には甘いという彼の正体が世間に晒される結果となりました。しかも単に甘いだけではなく、犯罪行為をしたわけですから、当然責任をとって辞任すべきです。

自分のことは棚に上げて他人には厳しく接する人間の言葉は心に響きませんが、猪瀬さんと同様のことが人気キャスターであったみのもんたさんにも言えます。「みのもんたの朝ズバッ！」といった番組では、事実をできるだけ客観的に伝えるというキャスター本来の責務を放棄して、一方的に悪人を

作り出してその悪人を叩くことで視聴者にある種の爽快感を与えるという、まさにデマゴグの手法をとっていました。そんな彼の次男が窃盗未遂容疑で逮捕されたのですが、他人には厳しかった彼が全く反省する様子もなく、私を含めた多くの国民が怒りを感じました。結局、彼は「朝ズバッ！」を降板せざるを得なくなりましたが、そのことによって多くの国民は溜飲を下げたのだらうと思います。

このように言う「おい西田、お前は大丈夫なのか？」といった声が聞こえてきそうですが、まさにそこが重要です。私も人間ですから過ちもたくさんありますし、知らないところで過ちを犯していたということもあるでしょう。私は民主党政権時代に数々の「政治とカネ」の問題を追及してきましたが、他人を追及するからには私もいい加減なことはできないわけで、私の周りのカネの問題については私自身で徹底的に調べています。それでも問題が出てこないという自信があるので、他人を追及できるのです。他人に何かを要求するのであれば、自らにも刃を突き付ける覚悟が必要ですし、逆に自分が出来ないことは他人にも要求してはいけないということです。

猪瀬さんは記者会見で取って付けたような説明をしており、焦った様子がありありと感じられますし、あの説明で納得できる方はおられないでしょう。猪瀬さんの記者会見を見て、私は小沢さんの資金管理団体「陸山会」の土地購入をめぐる収支報告書虚偽記載事件を思い出しました。この事件は、週刊誌「週刊現代」（2006年6月3日号）が「小沢一郎の“隠し資産6億円超”を暴く」という記事を掲載して「陸山会が所有していると報告された不動産は、登記簿上の所有者は小沢一郎となっており、個人資産との区別が不明確である」と指摘し、世に広く知れ渡りました。この報道を受けて小沢さんは記者会見を開き、「私は何もやましいことはしていない」「法にのっとって行っている」と主張して土地購入の領収書、契約書、確認書（この確認書は、のちに会見前日に作ったものと判明）などを提示し、それらは民主党のホームページにもアップされましたが、私はそれらの資料を調べて虚偽記載に気付き、国会で追及したのです。このように、その場限りの言いつくろいで済ませようとすると、後でとんでもないことになってしまいます。

最後に、今回の猪瀬さんの問題については国会でも取り上げられており、特に野党側の国会議員が注目していることをお伝えしておきます。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>